



2019年11月8日

各位

上場会社名 株式会社 加藤製作所
 代表者 代表取締役社長 加藤 公康
 (コード番号 6390)
 問合せ先責任者 取締役執行役員財務統括部長 小西 二郎
 (TEL 03-3458-1130)

2020年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想の修正並びに 配当予想の修正に関するお知らせ

2019年5月14日に公表いたしました2020年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想及び通期の連結業績予想の修正、並びに配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	46,000	1,400	1,400	600	51.20
今回修正予想(B)	41,500	650	400	△50	△4.27
増減額(B-A)	△4,500	△750	△1,000	△650	
増減率(%)	△9.8	△53.6	△71.4	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	42,283	2,590	3,076	2,008	171.44

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	87,000	2,600	2,700	1,500	128.01
今回修正予想(B)	83,000	1,400	1,100	400	34.14
増減額(B-A)	△4,000	△1,200	△1,600	△1,100	
増減率(%)	△4.6	△46.2	△59.3	△73.3	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	85,409	4,462	4,794	3,034	258.99

修正の理由

当第2四半期累計期間については、米中貿易摩擦の長期化で中国経済低迷の影響により、世界経済の不透明感が続いております。このような状況により、売上高は、新たにヨーロッパの子会社2社を連結の範囲に加えたものの建設用クレーン・油圧ショベル等の輸出及び中国子会社での油圧ショベル等の販売が伸びず、前回予想を下回る見込みとなりました。

利益は、売上高の減少による営業利益の減少を見込んでおります。また、中国子会社の円建て債務による為替差損の発生が見込まれており経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益の各項目において前回予想を下回る見込みとなりました。

通期業績予想については、下期においても引き続き外部環境の不透明感から需要は想定より弱含み、中国経済低迷の影響により東南アジアの売上高の減少が見込まれるため、第2四半期累計期間までの売上高の減少を補う事は出来ず、前回予想を下回る見込みとなりました。

利益は、売上高の減少に加え、海外子会社の販売促進費の増加が見込まれており、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の各項目において前回予想を下回る見込みとなりました。

これらを踏まえ2019年5月14日に公表しました2020年3月期第2四半期連結業績予想及び通期連結業績予想を修正いたします。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2019年5月14日発表)	—	47.50	—	47.50	95.00
今回修正予想	—	15.00	—	15.00	30.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (2019年3月期)	—	47.50	—	47.50	95.00

修正の理由

当社は、安定配当を基本としながら、企業体質の強化を図るため、内部留保に留意しつつ、経営環境や収益状況等を総合的に勘案したうえで、実施する方針としております。

配当方針並びに、この度の業績予想の修正を踏まえ総合的に判断した結果、配当予想を上記のとおり修正いたします。

(注)上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上